

注文カード

帖合・貴店名

注文数

冊

発行 六花出版

公民科・地歴科・社会科の実践研究
——21世紀日本の社会認識教育を考える

ISBN978-4-905421-56-6

定価：1,500円＋税

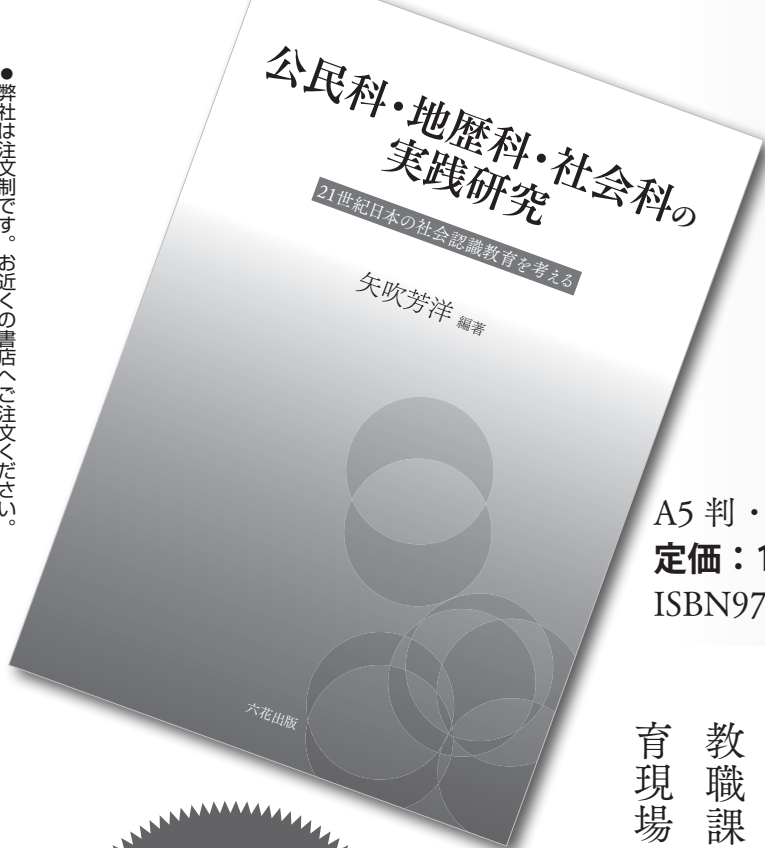
矢吹芳洋 編著

お名前

お電話番号

注文 年 月 日

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。



公民科・地歴科・社会科 の 実践研究

21世紀日本の社会認識教育を考える

A5判・並製・200ページ

定価：1,500円＋税

ISBN978-4-905421-56-6

矢吹芳洋 編著

近年のグローバル化による社会構造の変化に伴って、社会科教育も自ら大きく変容することが求められている。本書はこれに対応したもので、とくに公民科に重点をおく一方、地理歴史科や社会科の実践研究の成果を組み込むことにより、今後の教授―学習過程上の問題点を探ろうとした研究論文集である。

また本書には、数十年に及ぶ専修大学教育学会社会科研究会による教材研究の成果、とくに斬新な学習指導要領などが多数収録されている。

教職課程を履修している学生および教育現場の教師に最適の書である。



六花出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-42

電話 03-3293-8787 FAX 03-3293-8788 <http://rikkapress.wordpress.com/>

- 1 新「現代社会」と「幸福、正義、公正」——現代の諸課題を考察・探究する枠組み
矢吹芳洋（専修大学経済学部教授）
- 2 平和学習教材としての「従軍雑観」
蔭山雅博（専修大学商学部教授）
- 3 「地域の将来」を見据えた「身近な地域の調査」構想——中学校社会科地理的分野の場合
種藤 博（東京都墨田区立本所中学校教諭）
- 4 東京都の学校設定教科「日本の伝統・文化」と「現代世界と日本の歴史・文化」
——「漫画・アニメ・ゲーム」を取り入れる授業の試みについて
武藤智彦（東京都立山崎高等学校教諭）
- 5 実践報告「沖縄ウィーク」——日本史における3年間の成果と課題
杉山比呂之（専修大学附属高等学校教諭）
- 6 実物資料を活かした博物館における歴史学習——芝山町立芝山古墳・はにわ博物館の事例
奥住 淳（千葉県芝山町立芝山古墳・はにわ博物館学芸員）
- 7 氏（姓）を考える——歴史と今とこれから
坂詰智美（専修大学法学部専任講師）
- 8 社会科教育におけるメディアアリティ——新聞を題材にして
関口祐美子（日本橋女学館中学校・高等学校講師）
- 9 法教育による憲法学習の刷新——中学校社会科公民的分野のための新しい憲法学習プログラム
岡部麻衣子（東京都江戸川区立小岩小学校教諭）
- 10 発展的平和教育の実践
遠藤正二郎（文教大学付属中学・高等学校講師）
- 11 社会科としての授業力とは何か？——主体的な学びの実践を通して
宮崎三喜男（東京都立国際高等学校主任教諭）

新「現代社会」と「幸福、正義、公正」

現代の諸課題を考察・探究する枠組み

矢吹芳洋

はじめに

高等学校の新学習指導要領が、2010（平成22）年度からの先行実施を経て、2013（平成25）年度入学から本格的に実施されている。今回の改訂は、2003年の一部改訂と異なり、約10年ごとに行われる通常の改訂であり、2003年改訂で積み残した課題とその後の社会状況の変化に対応するものである。

中央教育審議会（以下、中教審とする）答申は、改訂の背景として、グローバル化の進展、知識基盤社会（knowledge-based society）、教育基本法の改正などを挙げ、今回の改訂がこれらの要因に対応するものであることを示したり、

グローバル化が進展し、異文化との共存やグローバル・イシューの解決が必須となっている。また知識基盤社会の時代の到来に伴い、そのための人材育成が必要となっている。経済協力開発機構（以下、OECDとする）OECDがらの変化に対応する能力としてキー・コンピテンシーを示した。OECDが進める学習到達度調査（Programme for International Student Assessment；いわゆるPISA調査）によって、我が国の子どもたちには読解力や活用能力、学習意欲が不足していることが指摘されたため、これに対応する改革が進められている。